

会議名	第1回学校運営協議会 議事録	
場 所	大阪府立すながわ高等支援学校 4階 校長室	
日 時	令和7年6月3日（火） 14：00～15：30	
目 的	学校運営協議会は、保護者等との連携協力、学校運営の方針についての協議及び承認、保護者等の意向の反映のために設置する、大阪府教育庁の附属機関である。	
次 第	(1) 校長あいさつ (2) 学校運営協議会委員紹介 事務局職員紹介 大阪府立すながわ高等支援学校 運営協議会 実施要項確認 会長、副会長選出 (3) 協議 <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度学校経営計画について ・9期生の進路状況等の取り組み（進路だより） ・今年度の広報活動の取り組み ・校内研修の取組み (4) 報告 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書選定について (5) 意見交換 まとめ (6) 校長挨拶	
学校運営協議会	会 長 四天王寺大学教育学部教育学科教授 副会長 株式会社カネシン オートバックス 委 員 泉州中障害者就業・生活支援センター 委 員 株式会社サクセス 自立支援推進室長 委 員 泉南市 行政経営部 危機管理課 委 員 すながわ高等支援学校PTA会長 校 長 すながわ高等支援学校長 すながわ高等支援学校事務局	土口 千恵子 様 辻 昭宏 様 斎喜 祐輔 様 河本 妙子 様 小原 成裕 様 二家本 英生 様 加納 由朗 9名

会議内容

要約 令和7年度学校経営計画の計画状況について確認されたこと及び協議テーマについて、各立場から実りのある意見交換がなされた。

協議テーマについてのご質問・ご意見

○令和7年度学校経営計画の説明では、昨年度より大きく変更された点を中心に説明があった。

「対話」「遊び」「学習力」「体験学習」の4つの基本活動を柱に行事や体験学習を通じて生徒の自己肯定感の育成につなげることが挙げられた。ベースボール型ゲームへの取り組みについては、大阪府の障がい者スポーツ大会では1つの競技しか出場できないので学校としてこういった取り組みをすると生徒たちの経験にもなり、先生方の視野も広がるのではないかと意見をいただいた。また、交流及び共同学習については、4月に行われた石川県の七尾特別支援学校との交流や7月に行われる韓国とのオンライン交流について、1度で終わるのではなく引継ぎ交流を続けていく方向性が示された。変更された中で“炎天下での体験学習を見直す”という点に関連し、労働安全規則が6月から改正され、民間は対応に追われたが、学校では教員に対して何か具体的な対策や研修はされているのかと質問があった。クーラーの設定温度や窓の開閉・職員室の窓の網戸設置も課題として試行錯誤していただきたい。その際に学校三師の意見を取り入れ、何ができるのかを考えていく必要があると確認された。またこの学校経営計画について、作成方法や周知方法についても改めて共有された。

○進路状況等の取り組みについては、進路だよりをもとに3月に卒業した9期生の進路状況の内訳などについて説明があった。例年に比べて正社員が多くなっていることや職業準備性ピラミッドについて【基本的生活習慣としての身だしなみ】と【職場にあった身だしなみ】の2つを明記したことの報告があった。多様性が認められる時代でルールも職種によって様々だが、教員の身だしなみについても授業内容や訪問先に合わせたスタイルが求められているとのご意見をいただいた。また、委員から有期雇用の生徒に対し5年たてば無期雇用になるのは学校から保護者へ伝えているのか、また企業へ確認をしているのかと質問があった。現段階では行っていないが、福利厚生も違うので学校から企業へ伝えていってほしいとのご意見をいただいた。

○広報活動の取り組みについては、昨年度、定員割れしたことを重く受け止め、実施時期、内容、方法について見直しを行った。先日行った中学校教員向けの研修では、34校、47名の参加があった。その内、本校での説明会等に初めて参加する教員が28名であったことから各地域の支援担当者等も変わってきているのではないかとの分析もあった。夏に行う中学校訪問については、この研修で参加のなかった中学校を対象に行っていく。また、校内で行っていたつながわ高等支援学校展については、いこらも～る泉佐野様での外部開催とし、オープンスクールと学校説明会の内容についても差別化を図る方針が報告された。委員からは、中学校へも大切だが保護者や放課後等デイサービスの職員向けにも働きかけてはどうかと提案があった。放課後等デイサービスの職員が生徒の放課後を担っている中職員が進路の相談も受けることが多いようで、今後検討していく必要がある。

○今年度の教員向け校内研修の計画について報告がされた。本校では3年生で同和学習に取り組むため、今年度は教員向けの同和研修も実際に学習する3年生の学年を対象にするなど対象を絞って実施することなどが報告された。

○令和7年度教科書選定については、実際に使用している教科書を確認していただいた。

○保護者の意見書については提出がなかった。

次回開催日 令和7年11月予定

作成者 大阪府立つながわ高等支援学校 首席 檀原 千鶴 (令和7年6月12日作成)